

## 会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成26年度 第3回
開催日時	平成26年9月4日（木曜日） 午後6時00分から午後8時15分まで
開催場所	男女平等推進センター1階 活動室
出席者	委員：吉田委員長、白井副委員長、齋藤委員、加藤委員、田崎委員、本橋委員、長坂委員、齋藤（博）委員 欠席：なし 事務局：日下部課長補佐、杉山主査、編集委託（富山、金子）
議題	(1) 第1回及び第2回企画運営委員会会議録の承認について (2) 平成26年度事業について (3) 情報誌パリティの編集について（13号及び次号の編集） (4) パリティだよりについて (5) 次回会議日程について (6) その他
会議資料の名称	(1) 施設見学について (2) 西東京市男女平等推進センター事業企画書 (3) 情報誌パリティ念校 (4) 情報誌エガール及び情報誌パリティの特集記事履歴一覧表 (5) パリティだより (6) 会議録（第1回、第2回）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録      発言者の発言内容ごとの要点記録      会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(開会)</p> <p>1 依頼状の手交と紹介 平成26年8月21日付け依頼として齋藤博委員への依頼状を手渡す。齋藤博委員に自己紹介をお願いする。人数が少ないことから、出席予定者が揃ってから再度自己紹介をお願いする。</p> <p>2 施設見学について 資料1にあるとおり、スケジュール・質問等の確認を行う。質問事項等について特に異議はないという事であるが、後日事務局に何かあれば、連絡をする。</p> <p>3 議題 <b>第1回及び第2回企画運営委員会会議録の承認について</b> 異議なし 平成26年度事業について 委員が揃わないため他の案件を優先させたが、時間切れとなり具体的検討に入れずに、次回第4回委員会で検討するとした。</p>	

### (3)情報誌パリテの編集について

#### 13号の最終稿の確認

- ・ ページ2の白川和子先生のプロフィールが読みづらい。字が小さい・白抜きがはっきりしない。→工夫をする。
- ・ ページ3の文中に「原因の一つ」という表現があるが「原因のひとつ」とひらがな表記をして、特集記事全体の表記を再点検し、ひらがな表記するものの統一をする必要がある。→了解した。その他でもひらがなを使用した方が良いものがあれば、本書全体を通じて確認をし、統一することとする
- ・ ページ2小見出し「つながっている…」が2行になっているのはなぜか→仕事・結婚・出産の単語を強調するためである。
- ・ ページ4～5はやはり文章が長い。理想としては特集記事を見開き2頁分として、残りの2頁の記事においては、次号以降の編集で新しい企画を検討する必要がある。
- ・ 4コマ漫画の最後4コマ目で「時給を下げてもらったら」につながる意味がよくわからない。→落ちということで自分の勤務評価や自尊心等につながる「落ち」である。
- ・ 「落ち」としては理解できる。むしろ3コマ目の「主婦だってもっと働きたいのよ」の「主婦」は、男女平等推進をするに部門で扱う言葉としては適当でないと思われる。
- ・ 配偶者控除の制度説明上で、その「主婦」という方がよく理解できる。
- ・ ストーリーの本意を表現する別のセリフを考えても良いのではないか。
- ・ 「本当はもっと働きたいのよ」がよい。
- ・ ライブラリーでのコメントは、空白のバランスが悪いと思う。定められた文字数・行数をできるだけ埋めるように次回から心がける。

#### 14号の編集

- ・ 特集記事について、「イクボス」（「イクボス」とは、イクメンが活性化するには、男女平等参画やワーク・ライフ・バランスなどを推進する企業・団体・組織内のボス（社長や役員あるいは管理職等の上に立つ者）の存在が不可欠であることに注目するものである）を提唱している東大の佐藤先生のインタビューとする。
- ・ 特集記事の取材において、意見・希望があれば事務局まで連絡すること。
- ・ ステキに男女平等参画in西東京の紹介記事であるが、「イクジイ」を取り上げる。
- ・ 住吉会館の「のどか広場」を利用している人「イクジイ」と思しき人を見受けられるが、事務局の方で取材の許可が得られるか確認する。
- ・ パリテまつりの紹介記事は事務局が、ライブラリーは吉田・齋藤博・長坂の各委員が、編集後記は白井・加藤・長坂・齋藤博の各委員が担当する。
- ・ 記事の提出期限は、すべて10月15日とする。

#### (4)パリテだより

- ・ パリテだよりは事業報告的な意味合いで、11月と3月の年2回の発行を行っている。ちなみに情報誌パリテは啓発用である。例年のとおりであれば編集担当委員の選出をするところであるが2誌を年4回の発行というのは、なかなかの事務負担であり、内容的にも2誌の違いが見出しにくいということから、統合を図る提案がある。
- ・ 市民意見の反映ということで、この委員会が行う事業を広く知らしめることが必要で、そのツールとしてパリテだよりを発行してきた。無くしてよいのかは疑問である。
- ・ 行政の執行機関として、発行しなくてはならない条件があるかであるが、市では事業を実施する上で、前年度に予算の見積もりを立てる。つまり、計画的に必要な事業を組み立て、それに必要な経費を積算し、当該年度の予算を編成する。予算は議会の承認を受けた後に、

市は当該年度に事業を実施し、適正な予算執行を行うことが原則である。事業は各所管が精査の上、必要を認めたものであるが故、年度途中での事業の変更や中止は軽々に行えない。これによりパリテだよりは発行することを求められるのであるが、ただし、緊急対応や経費節減に努められることなど合理的な理由があった場合、変更や中止があっても差し支えないことがある。なお、変更の際は、予算を超えるものであってはならない。但し書きの内容に当てはまる理由があれば、発行に関しての変更や中止は可能であると解釈してよい。

- ・先程の情報誌パリテ14号の編集において、見開き2頁分が空いており、事業報告としてパリテだよりの代用を行うことができる。パリテだよりの単独発行は不要であると思うし、今回の情報誌パリテ編集方針にも合致する。

- ・だより1000部（500部×2回）の発行が減じることとなるので、その分を何らかの方法で、情報誌パリテの印刷部数の増刷をする必要はある。

- ・編集委託を受けたものとして、提案は仕様書の範囲を逸脱しないと考えるので、記事さえ確保できれば今のところは編集発行可能と思われる。ただし仕様書の精査と増刷分の問題を帰社して検討する必要があるので、後日、事務局へ回答する。

#### (5)次回会議日程について

次回：日時 9月22日（月曜日）午後6時～

場所 住吉会館 男女平等推進センター1階活動室

(閉会)